

はじめに

海外経済協力基金（OE C F）は、我が国のODAのうち二国間政府貸付（円借款）を担っており、開発途上国が取り組むさまざまな開発事業等を支援しております。

円借款業務の遂行に当っては、開発途上国の多様な開発ニーズに対応する形で融資規模を拡充する一方、融資した開発事業のフォローアップ、アフターケアである事後評価・事後監理も重視し、1981年以来、順次体制を整備して参りました。1993年の開発援助研究所の設立以来、OE C Fの事後評価は、開発援助研究所の評価グループが行っております。当研究所における事後評価は、単に個別事業の効果発現状況について調査するだけでなく、現在まで蓄積されてきた多種多様な事業の評価実績・経験を活かし、各セクターの政策の在り方や開発途上国側の実施機関の制度的側面を含め、開発に関わる広範な課題を取り上げることにより、持続的な効果をもたらす質の高い開発援助に役立てていくことを目的としております。また、当研究所の他のグループ（援助理論研究グループ、国別地域別テーマ研究グループ、セクター別テーマ研究グループ）とも連携し、より多角的な視点から調査研究を推し進め、開発援助研究と事後評価との「有機的連携」に努めております。

「円借款案件事後評価報告書」は、このような円借款融資対象事業の事後評価結果をとりまとめたもので、円借款への理解を深めると共に、今後の開発援助の効率的・効果的実施の参考としていただくため、1991年以来、毎年発行し、今回で7年目を迎えております。

今回の報告書には、1996年度に実施した評価の全報告書を掲載するとともに、一部の評価と同時に実施した特定テーマに係る研究論文も併せて掲載し、当研究所の研究成果の一端を紹介しております。本書の内容は、相手国をはじめとする関係各位のご協力のもと、当研究所が取りまとめたものですが、文中、意見にわたる部分については、当該事業の一層の効果発現、将来の類似事業のより効果的・効率的な実施のために、調査分析を担当した執筆者個人の見解を述べたものであることとお断りしておきます。

これを機会に、OE C Fの調査活動に対する関係各位の日頃のご支援、ご協力に心より御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きより質の高い研究をするために、忌憚なきご教示、ご意見を頂きますよう、お願いを申し上げます。

開発援助研究所

所長 影山 俊郎

目 次

| | |
|--|-----|
| OECF の事後評価..... | 1 |
| 1. 事後評価の目的..... | 1 |
| 2. OECF の事後評価活動..... | 1 |
| 3. 事後評価の位置づけ..... | 2 |
| 4. 事後評価の種類..... | 3 |
| 5. 事後評価対象事業の選定..... | 4 |
| 6. 事後評価の項目..... | 4 |
| 今回の報告書の内容..... | 5 |
| 1. 掲載対象事業..... | 5 |
| 2. 1996 年度の事後評価事業の特徴..... | 5 |
| 3. 掲載対象事業の概要..... | 6 |
| 4. 国際協力事業団との連携状況..... | 9 |
| 1996 年度の事後評価報告 | |
| 《詳細評価》 | |
| ①エジプト：アシュート火力発電所建設事業（A）..... | 13 |
| 研究レポート／「エジプト国電力セクターにおける効率化策の検討」 （宮内康雄）..... | 29 |
| ②韓 国：中小企業近代化事業（1）～（3）..... | 55 |
| ③タ イ：メクワン灌漑事業（1）～（3）..... | 95 |
| 研究レポート／「メクワン灌漑農業開発事業における住民移転に係る評価」..... | 128 |
| （荷宮仁樹・渋田健一） | |
| ④中 国：四都市ガス整備事業（1）（2）福州分..... | 157 |
| 研究レポート／「中国国有企業の財務的サステナビリティ」（大高俊幸）..... | 181 |
| 《机上評価・事務所評価》 | |
| インドネシア：スラバヤ・バンジャルマシン海底ケーブル建設事業..... | 212 |
| インドネシア：バカル水力発電事業（1）（2）..... | 214 |
| エジプト：アシュート変電所建設事業..... | 216 |
| エジプト：発電プラントパージ..... | 218 |
| 韓 国：気象施設近代化事業..... | 220 |
| 韓 国：廃棄物処理施設建設事業..... | 222 |
| タ イ：地方公衆電話網拡充事業..... | 224 |
| 中 国：秦皇島丙丁バース建設事業（1）～（5）..... | 226 |
| 中 国：北京市下水道処理場建設事業..... | 228 |
| フィリピン：地方上水道事業（3）..... | 230 |